

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		家庭教育の振興				所管	教育委員会 生涯学習課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	114	計画事業名	家庭教育の振興		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-3. 学びと交流の仕組みづくり					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (1)生涯学習の機会の充実					[事業開始] 平成 1 2 年度	
		[施 策] ① 多様な学習機会の提供[43]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	その他		〔法令等名〕		なし		
	事業対象	①家庭教育学級:区内の保育園、こども園及び幼・小・中学校に通う子どもの保護者②乳幼児家庭教育学級:0～3歳児の保護者③家庭教育支援者養成講座:子育て支援に関心がある20歳以上の区内在住・在勤者						
	事業目的	子どもは、家庭における家族の愛情やふれあいを通じ、生きる力の基礎的な資質や能力を育成する。より良い家庭教育が行われるよう、保護者に学習の機会を提供する。また、地域に対し、家庭教育の重要性を啓発し、家庭教育支援を推進する。						
	事業内容	①家庭教育学級は話し合い学習を中心に、区立こども園・幼稚園・保育園・小学校・中学校、私立幼稚園の各PTAを単位として実施し、家庭の教育力を高める。 ②乳幼児家庭教育学級は、地域の教育力を活用し、家庭教育を振興できる団体に事業を委託して実施し、家庭の教育力を高める ③家庭教育支援者養成講座は、子育て支援者を養成し、孤立する保護者を支援することで、子育ての地域力を高める。また、家庭教育支援者養成フォローアップを実施し、支援者のスキルアップを図る。						
委託の有無	一部委託		委託内容	乳幼児家庭教育学級を、子育て支援活動等を行う団体に委託				
補助金の有無	国・都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	家庭教育学級会場数	会場	43	42	40	43	
		乳幼児家庭教育学級会場数	会場	4	3	3	4	
	成果指標	家庭教育学級参加者数	人	4,100	4,024	3,852	3,861	
		乳幼児家庭教育学級参加者数	組	250	214	175	245	
	決算額 (単位:千円)				2,179	2,593	2,949	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)		2,886	8,393	10,605		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)		619	756	831		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)		1,560	1,836	2,119		
		総経費		5,065	10,985	13,555		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)		0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)		0	145	835		
		一般財源 (区負担額)		5,065	10,842	12,720		
前年度から改善した事項		家庭教育の振興事業に関する講座の周知手段として新たに子育てメールマガジンを活用した。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	核家族化、少子化を背景に家庭教育の低下が指摘されるなか、家庭教育の充実を図るためのニーズは高まっている。					
	効率性	3	家庭教育の重要性は今後も広く周知していくべきなので、より有効な方法を模索しつつ、家庭教育の振興を図る。					
	手段の適切性	3	家庭教育学級及び乳幼児家庭教育学級は自主的・自立的に学びきっかけとなるよう行っている。今後も本事業のねらいを浸透させていく必要がある。					
	目的達成度	3	本事業全体としては、子育て中の親を支援する地域づくりに向けた施策を進め、支援活動につなげていくよう事業展開し、充実を図っている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
家庭の教育力の低下が指摘されるなか、施策の重要性はますます高まっているため、家庭教育力の向上のために地域の人材育成にますます力を入れていく。あわせて、家庭教育に関わる団体や他部署との連携を強化し、情報提供の充実を図る。						維持		